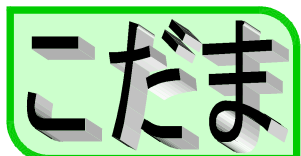


学 校 だ よ り 第 10 号 平成27年 2月 1日 こだまする笑顔		学校教育目標 人間性豊かな判断力と 実践力を持つ生徒 吉川市立中央中学校
生徒数 1学年：291名 2学年：266名 3学年：236名 総計：793名 吉川市立中央中学校 TEL 982-0241 さわやか相談室 TEL 983-2668		



来るべき春に向かって

校長 小澤 賢一



一年中でもっとも寒いと言われる時季です。そんな中、手袋やマフラーもせずに元気に登校してくる生徒を見ていると、何か嬉しくなってきます。2月3日は季節の分かれ目「節分」、鬼を追い払って春と福を呼び込みます。そして、翌日は立春、春はすぐそこまで来ています。とは言うものの、それは暦の上でのことであって、実際のところは、もう少し厳しい寒さが続きます。希望に満ちた春を迎えるための、最後の試練のようです。

学校では、1年生が菅平高原へ「スキー教室」に出かけます。充実した体験を通して、笑顔でお土産話をいっぱい持って帰ってきてください。2年生は、「校外学習」の準備を進めています。修学旅行への取り組みの一環です。3年生は、今まさに受験真っ盛りです。人生の岐路（わかれ道）に立って、一人一人の生徒が真剣に自分と闘っています。中には、一足早く進路を決定した生徒いますが、大多数の生徒は、今月が勝負です。

そういった各学年の動きと平行して、教職員は、平成26年度の自己評価を行っています。6領域18項目に及ぶ学校評価をとおして、本年度の教育活動を振り返ります。そして、改善すべきところを洗い出し、27年度の中央中学校の教育計画づくりに取り組んでいます。それこそ、来年度の中央中学校をより充実できるかどうかのわかれ道です。

学校関係者評価委員の皆様方には、お忙しい中、学校評価にご協力いただきありがとうございます。裏面に集計結果を掲載しましたので、どうぞご覧ください。考察の一部を紹介します。

○学校自己評価で、18項目中13項目は、「できた・ややできている」が過半数を占めてA評価であったことは、成果として満足できるものである。越えなかった規律ある態度の10番、11番、12番については、今後の課題である。しかし、学校関係者評価ではA評価であり、家庭や地域ではできているので、今後とも学校での継続した取り組みに力を入れていきたい。

○7番、8番、9番は本年度、特に重視した「学力向上」についての質問だが、自己評価では、「できた・ややできている」が過半数を占めA評価であるが、学校関係者評価ではすべてにおいて低かった。この認識の違いを真摯に受け止め、地域や保護者の方々にご理解いただけるよう最大限の努力が必要である。

○4番、5番、6番の「保護者・地域との連携協力」については、学校自己評価と学校関係者評価で6番（相談や要望）に大きな差が見られた。、教職員と保護者・地域の連携協力は学校教育、さらには生徒の健全育成において欠かせないものである。来校しやすい、相談しやすい学校を目指して、今後も連携協力体制づくりに重点的に取り組んでいきたい。

季節の分かれ目、人生のわかれ道、年度の変わり目に立ち、生徒たちも、学校も、来るべき春に向かって自らの構想を練っております。どうぞ、ご支援をお願いいたします。

学校評議員の皆様、ありがとうございました。

1月27日（火）に、第3回学校評議員会を開催しました。毎回、全学級の授業の様子を参観していただき、感想等をお聞かしています。

その中から「2学期より全学年落ち着いてきましたね」「楽しく授業を行っていますね」

「生徒みんなが頑張っていました」とお褒めの言葉をいただきました。

さらに12月に行いました学校評価のまとめについて説明させていただきご意見をいただきました。

今年度評議員をお願いしました 佐々木俊作様、藤井正子様、萩原美可子様、塩谷利治様、一戸裕美子様貴重なご意見等いただきまして、誠にありがとうございました。



学校評議員授業参観

頑張ってます！ 中央中生

【市内書き初め審査会】

特選賞：【3年】牟田未杏、【2年】三大寺広花、塩崎正巳、【1年】今宿舞

金 賞：【3年】鶴巻朋夏、鈴木果南、杉村由芽

【2年】渡邊瑠莉、松村真友子【1年】加藤由唯

銀 賞：【3年】小坂橋ゆうか、根岸夢乃、山本海輝

【2年】須川令菜、佐藤大輝、佐藤恵夢、古場桃子、菊地栞風、石野田拓斗

増田未夢、三嶋彩

【1年】高橋明莉、五十嵐瑠莉、伊藤舞香、森野遥花、高野七聖、深野仁美

大友芽衣、藤田実花、近藤のどか

銅 賞：【3年】内川菜々、山口琴代、鶴殿里菜、出口愛弓、中島優衣、武田弥有、外山諒

黒田瑞紀、山本瑛己、倉本すず、平原優夏、北条奈奈、藤田明星

【2年】進藤彩乃、青山怜央、飯塚琴美、宮川美月、山崎瑠祐次、嶋原侑梨

佐藤双葉、斉藤夢、宮崎友里香、箕輪綾乃、宮田裕希、安部勇生

難波恵莉華、野口瑠夏

【1年】後藤麗菜、齊藤理音、齊木春菜、堀山笑実子、長原佑愛、南沙貴

戸張早紀、高鹿怜央奈、小林俊樹、小林夏、小澤実桜、須藤寿々花

橋本樹、川崎勇誠、太田真衣、福田琴雪、楠見和葉、近藤優衣

宮内ひな、佐藤由菜、松田琉伽

学 校 保 健 委 員 会



1月30日（金）多目的室にて、第2回学校保健委員会が行われました。

「子どもたちに伝えたい！自己肯定感」というテーマで講師に本校スクールカウンセラーである吉井弘子先生をお招きいたしました。事前に生徒へのアンケート結果が報告され、「いろいろ欠点はあるが、自分のことが好き」と答えた生徒は全体の3割程度しかいませんでした。一体自己肯定感はどうすれば高まり、自分のことが大切、かけがえのない存在だと思えるのでしょうか？一番効果的なのは、身近な人（親、友だち、先生など）から感謝されたり、ほめられたり、認められたりすることだそうです。また、叱るときにもこつがあるそうです。人格を否定するのではなく、行動を注意する、誰かと比べて叱らない、叱った後はいつも通りにする。などです。思春期の子どもたちは、いろいろな葛藤や悩みを乗り越え大人になっていきますが、「いろいろ欠点はあるが、私はかけがえのない大切な存在だ」ということだけは忘れないでほしいと願っています。

2 月 の 主 な 行 事 予 定

日 曜	行 事	日 曜	行 事
1 日		15 日	
2 月	全校朝会 A日程開始	16 月	
3 火		17 火	
4 水		18 水	専門委員会 入学願書等提出↓
5 木	スキー教室1年 実力テスト2年	19 木	
6 金		20 金	ふれあいデー
7 土		21 土	
8 日		22 日	
9 月	振替休業日1年	23 月	学校関係者評価会議 公立志願先変更↓
10 火	生徒集会	24 火	
11 水	建国記念の日	25 水	学年末テスト3年
12 木	学校公開 新入生説明会	26 木	学年末テスト3年
13 金	学校公開	27 金	1・2年諸活動停止期間
14 土		28 土	

***下校時刻 5時30分 です。**

平成26年度 吉川市立中央中学校 学校公開用

この学校評価は、学校の現状やこれまでの努力とその結果を公表し、家庭・地域にお知らせするとともに、今後の取り組みに向けて家庭・地域の理解や連携協力を願うものです。

No.	質問項目	記号	自己評価についての 評価の説明及び学校の考え	学校関係者 評価	学校関係者評価者の説明
1	学校教育目標の実現のため、様々な取り組みに努めている。	A	学校生活の向上を目指して、4つの視点①同歩調②学力重視③師弟同行④説明責任で全職員が協力して、一丸となって「元氣な学校、元氣な生徒」を目指して取り組んでいる。	A	学校公開では授業や休み時間の様子を、行事では特に体育祭や中央中祭の生徒の活動状況を見ていただいた評価である。今後ふだんの活動についてもより見ていただく工夫に取り組んでいきたい。
2	学校は、児童生徒の学習環境の整備に努めている。	A	学習環境の整備として、昇降口や廊下の掲示物の工夫や廊下のコーナーを使った利用に取り組んだ。美化活動や緑化活動は委員会や生徒ボランティアを募り取り組んできた。さらに、全校へと広めるための取り組みとしていきたい。	A	学習環境整備は1学期に比べて2学期きれいで落ち着いた感じがある。掲示物についても子どもたちの活動が見えるものと考えている。清掃については隔々まで意識させた活動としていきたい。
3	校長を中心として、全職員が協力して児童生徒のために努力している。	A	夢や希望を持ち、自ら学ぶ意欲と自他を大切に、粘り強く礼儀正しい生徒の育成を目指して組織的に取り組んでいる。	A	生徒のよい面を見つけ、伸ばしていくことに組織的に取り組んできた。また、生徒にやる気をおこさせ、確かな学力をつけることに努力している。
4	学校は、保護者や地域に学校行事や授業を公開している。	A	保護者や学校評議員・民生児童委員、学区の6年生等に学校公開、保護者会、行事など積極的に公開している。行事でアンケートをとり、学校運営の見直し、改善に努め次年度工夫をしていきたい。	A	毎学期の学校公開や行事、バザーなど地域に公開している。平日は保護者も仕事で難しいかもしれないが平日の参観者が増加するように工夫していきたい。
5	学校は、学校の様子や成果を「学校だより・学年だより」等を活用し、情報提供している。	A	学校だより・ホームページ・道徳通信・学年だより・保健だより・学級通信等を活用し、情報提供に努めた。特に、HPは毎日更新してリアルタイムに心がけた。学校だよりではその月の活動からの写真を多く取り入れるように努めた。	A	毎日のホームページの更新や月1回の学校だよりを家庭や地域に配布してより生徒の活動の様子が分かるように心がけた。さらに学年・学級だよりによって具体的な発信に心がけた。
6	学校は、保護者や地域からの相談や要望に応えている。	A	保護者会や三者面談、民生児童委員会や学校評議員会等教育活動の中に計画的に設定している。また、個別対応が必要な場合は随時行っている。また、地域からの連絡には速やかに対応することに心がけた。	B	保護者や地域からの声に対して早期対応、組織的対応に心がけた。今後家庭・地域等との緊密な連携を図り、組織で対応していきたい。
7	児童生徒は、落ち着いて学習に取り組む、学習内容を理解しようとしている。	B	授業ルールの徹底(教師の率先垂範・生徒の意識をあげる)を図り、基礎的・基本的な内容を重視した指導計画の工夫と改善に努め、確かな学力を定着させる。学校研修主題も「確かな学力」を向上させる授業の工夫を目指した。	B	全体的には授業規律は向上しているが、一部の生徒については個別指導の必要がある。組織的な対応が必要である。
8	学校は、教材や指導方法を工夫し、児童生徒にわかりやすい授業を心がけている。	A	学習指導目標の明確化を図り、分ける授業の充実を努め、達成感を感じることができる授業に努めた。また、生徒の学習意欲向上のため学習形態や指導体制の工夫・改善を図り、個に応じた指導の充実を努めた。	B	個に応じた指導の工夫や、よりわかりやすい授業づくりを各教科で取り組んでいるが、達成感を感じることができる授業にまで至っていない。
9	学校は、児童生徒の行動や能力を適切に評価している。	A	学年会、生徒指導委員会、教育相談部会等を通してさまざまな面で生徒の情報の共有化に努めた。生活ノートからも生徒の良さをいいたすよう心がけた。今後も生徒の良いところを認め励ますようなシステムを作っていきたい。	B	シラバスと評価規準の提示により観点別評価と評定についての理解をお願いした。生徒や保護者への説明を丁寧にわかりやすく工夫していく必要がある。
10	児童生徒は、進んであいさつをしたり正しい言葉づかいをしたりすることができる。	B	あいさつを自ら進んでする生徒が少ない。教員が進んで気持ちのよいあいさつをする。言葉遣いも同様に指導の際の言動にも注意する。また、あいさつ運動など雰囲気を作り出すことや心を育てていくことが必要である。	A	生徒の進んであいさつできる心が育成していない。教員はもちろん、生徒会や保護者のあいさつ運動等保護者地域も巻き込んだ取り組みを推進していきたい。
11	児童生徒は、学習のルールや生活の決まりを守ることができる。	B	ルール、決まりを守る規範意識は前年度に比べてやや低くなっている。繰り返しの指導、見逃さない指導を継続していくとともに意識の向上を図る取り組みを進めていきたい。	A	規範意識にやや甘さがあり、校外での服装や行動に乱れがあり課題である。点検時そうとするが継続していないので心の成長が必要である。
12	児童生徒は、時間を守ることができる。	B	学級委員、体育委員、給食委員と生徒会が2分前着席を呼びかけている。大部分は意識しているが、継続できていないので意識の向上を図る取り組みを進めていきたい。	A	登下校や授業開始の時刻を意識した行動はできているが、継続してできるところまでではない。また、夜間の外出について地域の方より問題があって連絡をいただくことがある。
13	学校は、規範意識を高めるための指導に取り組んでいる。	A	「ダメなものはダメ」、「自ら正す」姿勢の確立のため、学年職員を中心に組織で指導に当たっている。引き続き、教師側が取り組みを続けることが必要である。	A	落ち着いた学校生活を送ることができ、学校公開では全クラス道徳の授業を公開した。引き続き「自ら正す、整然とした学校」の推進に努めたい。
14	児童生徒は、体育の授業や部活動又は外遊びに意欲的に取り組んでいる。	A	体育の授業は始業チャイム前に全員集合し、意欲的に取り組んでいる。また、指示も分かりやすく先を見通した活動ができている。また運動部活動も部長を中心に練習に積極的に取り組んでいる。	A	体育の授業公開では生徒たちが意欲的に取り組んでいる。また、運動部は積極的な活動で新人体育大会ではよい結果に結びついた。さらに昼休みの校庭利用を高めていきたい。
15	児童生徒が、健康な生活を送れるよう食育に取り組んでいる。	B	今年度、給食の残りが多く感じた。学校で栄養指導をするとともに家庭においても好き嫌いをなくして食育を共同して取り組んでいきたい。	A	栄養教師による栄養指導、保健指導での食育について充実させていきたい。生涯にわたって必要な取り組みなので家庭との連携についても今後の課題である。
16	学校は、児童生徒の健康・安全や体力向上に向けた取り組みを行っている。	A	学校保健委員会でテーマを決めて健康に目を向けるとともに、生活安全委員会や体育委員会を中心に取り組んでいる。また、体育祭では縦割りで行動して、全校取り組みになっている。今後各委員会から全体への活動にしていきたい。	A	体育の授業や体育祭等での積極的な生徒の活動や表情を見ていただいた。学校保健委員会ではPTAと連携して行っている。さらに内容の充実に取り組むたい。
17	学校は、児童生徒の立場に立ち、一人一人の思いや願いを大切にしている。	A	担任は三者面談や二者面談の実施や生活ノートから良さや考えを把握して生徒理解に努めている。また、部活動顧問や学年職員等機会を見て話すことにより一人一人を大切にしている。さらに内面に働きかけるようにしていきたい。	A	問題行動等への対応は、組織的に迅速に取り組んできた。今後も面談、家庭訪問などを通して一人一人を大切にしたい対応を推進していきたい。
18	学校は、いじめや不登校をなくすため、児童生徒への指導の充実を図っている。	A	毎月の「心と体の安全点検」の実施や生徒会中心のいじめ撲滅宣言の実施、休み時間に生徒とともに過ごす時間を活用し、早期発見に努めている。生徒指導加配、さわか相談員、スクールカウンセラー等の連携もさらに深めていきたい。	A	休み時間を含めてできるだけ生徒のいるフロアに教師がいて子供たちの様子を見守っている。心と体の安全点検や生活ノートより早期発見に努めている。

吉川市教育委員会 学校教育課だより
平成27年2月号

確かな学力のために
豊かな心のために
特色ある教育のために

学校評価について



学校評価とは、児童生徒がよりよい学校生活を送れるよう、
学校運営の改善と発展を目指すものです。

学校評価には、自己評価と学校関係者評価とがあります。
【自己評価】各学校の教職員が教育活動その他の学校運営の状況について自ら行う評価
【学校関係者評価】保護者、学校評議員、地域住民等の学校関係者が、各学校の自己評価の結果を踏まえて行う評価



学校の取組

各小・中学校において重点目標を設定し、その達成の状況や達成に向けた取組の適切さ等を評価することにより、学校運営を改善します。

家庭・地域との連携

自己評価や学校関係者評価を実施し公表することにより、適切に説明責任を果たすとともに、保護者や地域の方々からの理解と参画をいただきながら、学校・家庭・地域の連携・協力による学校づくりを進めます。

教育委員会の支援

学校評価の結果を踏まえて、教育委員会が、学校に対する支援を行うことにより、各小・中学校の教育のさらなる向上を図ります。

各小・中学校より、学校だより等を通じて学校評価の結果が公表されます。各学校の取組の状況を知るとともに今後の学校運営に家庭・地域の皆様のご協力をお願いします。

